2025/8月 1W

TSUDOI
スタンダードプラン
週次レポート

TSUDOIはブロックチェーンと仮想通貨に特化した情報配信サービスです。

本レポートコンテンツ

◆TOP銘柄分析ガイド

今週の急上昇銘柄分析、上昇理由と将来予測

◆狙い目：中堅銘柄発掘ガイド

世界トレンド銘柄の分析

◆大穴：新規銘柄発掘ガイド

CMC新規リスト銘柄分析

◆調査銘柄 早見表

TOP	BNB	Sui	Ethena
中堅	Injective	Conflux	Pancake Swap
新規			

このレポートはTSUDOIの有料サービス、スタンダードプランの加入者専用の情報です。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。

レポートの読み方については、一覧に含まれる「必見！成功へ導く３つの仮想通貨投資術」をご覧ください。

有料
レポート

とは

TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。こちらのマークを付与した銘柄のみ、AIによる相場分析の情報も記載しております。

週次トークン価格高騰TOP銘柄

トップ銘柄 分析ガイド 8/1

本分析ガイドは、Coinmarketcap（CMC）サイトにて、7日間を通してトークン価格が最も高騰もしくは下落したTOP銘柄を調査し情報を提供するものですが、今週は、中堅銘柄同様、検索トレンドを中心に話題となっている銘柄を週次でまとめて分析となっています。この分析から、市場で何が起こったのか、どの銘柄が注目されているのかを把握することができます。

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模ベンチマーク比較	上昇率 7days
#5	**BNB**	Layer1	¥16,602,024,762,545	¥119,191.69	4.21倍 (ETH比)	6.3%
#12	**Sui**	Layer1	¥1,980,669,839,302	¥573.27	7.39倍 (SOL比)	6.59%
#31	**Ethena**	Stablecoin Protocol	¥624,700,168,004	¥98.30	ー	47.72%

TOP銘柄チャート

上記画像は、Coinmarketcap（CMC）で記載されている7日間の価格推移を表示したチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、- 0.67%となっております。

参照元：Coinmarketcap

銘柄の価格高騰要因(考察)

とは　TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。

BNB：BNB（GOOD）

本銘柄は、直近3カ月で2度目の選出となります。

注目ポイント：米企業5億ドル投資で機関参入本格化

7/28 米製薬上場企業ウィンドツリー・セラピューティクス（Windtree Therapeutics）が5億ドルをBNBに投資すると発表。これにより市場に流通するBNB枚数が企業の長期保有により実質的に減少。7/29にはBNBが過去最高値859ドルを更新し、7/30には新しい暗号資産プロジェクトがBinance取引所に上場。**企業による長期保有と四半期ごとのトークン焼却により供給減少が続く構造で、取引所としての成長と相乗効果が期待**される。

AIによる相場分析：BNB

BNBは長期的に上昇基調ながら今は一服中。770ドル（約11.2万円）を守れば反発しやすく、800ドル（約11.6万円）突破で850ドル（約12.3万円）を再び狙う展開へ。逆に770ドルを明確に割ると750ドル（約10.9万円）や720ドル（約10.4万円）まで下げ幅が広がる恐れがあるため、あらかじめ損切りの目安を決めて取引したい。

Sui：SUI（GOOD）

本銘柄は、直近3カ月で3度目の選出となります。

注目ポイント：　ナスダック上場企業441億円投資＆量子技術対応

7/29 ナスダック上場企業ミル・シティ・ベンチャーズ（Mill City Ventures）が4.41億ドルの調達資金の98%をSUI購入に充当し、企業の資産として長期保有すると発表。これにより市場流通量が削減。同日、Suiは将来の量子コンピューター普及による暗号化技術の破綻リスクに備えた量子耐性アップグレードを発表し、他ブロックチェーンより先手を打った技術対応を実現。7/30にはTVL（プロトコルにロックされた資産総額）が過去最高の22.95億ドルに到達し、実際の利用拡大を裏付け。**企業買い・技術優位・実需の三要素で中長期成長基盤が確立**された。

AIによる相場分析：SUI

SUIは現在3.53ドル（約548円）まで下落し、反発しやすい価格は3.30ドル（約512円）付近です。上値では3.80ドル（約589円）や4.00ドル（約620円）が戻しの目安となり、3.30ドルを割ると次は3.00ドル（約465円）まで下がる可能性があります。

Ethena：ENA（GOOD）

本銘柄は、直近3カ月で2度目の選出となります。

注目ポイント：米規制準拠商品とTVL急成長で機関参入準備

7/24 米大手カストディ企業アンカレッジ・デジタル（Anchorage Digital）と提携し、米国規制に準拠したステーブルコインUSDtbの発行を開始。これにより機関投資家が抱える規制面の参入障壁が大幅に低下。7/28にはTVLが1週間で40%急増し77.2億ドルに到達。この急成長はEthenaの主力商品USDe（ドル連動の合成ステーブルコイン）への需要拡大を示し、高利回りを求める投資家資金の流入が加速。プロトコル利用が増えることでENAトークンの手数料分配やガバナンス需要も増加する仕組みで、**規制クリアと実需成長の両面から持続的拡大が見込まれる**。

AIによる相場分析：ENA

ENAは現在調整中だが、出来高が厚い0.56ドル（約84円）付近で買いが入りやすい。反発なら0.65ドル（約98円）→0.70ドル（約105円）を狙う展開。逆に0.56ドルを割ると0.50ドル（約75円）まで下押しも。大きな流れは上向きのため、急落は拾い場と見る向きが多い。慎重派は0.50ドル割れを損切り目安に。

CMCサイト内
検索トレンド
狙い目：中堅銘柄

狙い目：中堅銘柄　発掘ガイド　8/1

このガイドでは、将来的に市場をリードする可能性を秘めた中堅銘柄を見つけるために、下記分析手法を採用しています。Coinmarketcap（CMC）における過去7日間の検索トレンドや訪問者数を分析し、注目を集めている中堅銘柄に関する情報を提供することです。

検索トレンド3銘柄

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模ベンチマーク比較	上昇率7days
#67	Injective	Layer1	¥213,936,477,787	¥2,139.98	68.46倍(SOL比)	8.07%
#74	Conflux	Payments	¥163,191,438,718	¥31.88	172.07倍(XRP比)	28.38%
#80	Pancake Swap	DEX	¥146,071,742,872	¥423.56	6.56倍(UNI比)	9.78%

狙い目：中堅銘柄チャート

以下の画像は、CMCでの7日間の価格推移のチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、-0.67%となっております。

参照元：Coinmarketcap

検索トレンド中堅銘柄 注目要因(考察)

とは TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。

Injective Protocol：INJ

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：収益TOP10入りとETF申請で機関参入準備完了

7/28 **ブロックチェーン業界でプロトコル収益トップ10入りを達成**し、レイヤー1ネットワークで最高レベルのコード開発活動を記録。7/31 イーサリアム仮想マシン（EVM）互換性を導入するエザーニア・アップグレードを実装し、イーサリアム系アプリケーションとの相互運用が可能に。同時期にステーキングETFの申請も行われ、規制当局承認後の機関投資家資金流入に期待。持続的な収益基盤の確立により開発者エコシステム拡大とDeFi利用増加が見込まれ、ETF承認時には大規模な制度的資金の流入で長期成長が加速する可能性が高い。

Conflux：CFX

本銘柄は、直近3カ月で2度目の選出となります。

注目ポイント：AI統合とTPS大幅向上で技術優位確立

7/25 ツリーグラフ3.0アップグレードの詳細が発表され、取引処理能力が15,000TPSに向上することが明らかになり、高頻度取引とDeFiアプリケーションでの競争優位性を確立。7/29 オルカマインドAI(WEB3プラットフォーマー)との協業によりAIベースの決済ソリューションが実装され、Fufuture(分散型永続オプション取引プラットフォーム)との提携により分散型永続取引機能も追加。これらの技術統合により40%の急騰を記録し市場の評価を獲得。AI技術との統合と大幅な性能向上により、次世代ブロックチェーンとしての技術的優位性が確立され、アジア市場での存在感向上とDeFiエコシステムでの競争力強化が期待される。

PancakeSwap：CAKE

本銘柄は、直近3カ月で2度目の選出となります。

注目ポイント：3億枚供給削減提案とベース展開で需給改善

7/24 最大供給量を7億5000万から4億5000万へ削減する提案が発表され、市場流通枚数の大幅減少でトークンの希少性が向上。7/22 BNBチェーンに続きコインベースのベース・ネットワークでインフィニティ機能をローンチし、プール作成費用99%削減と取引手数料50%削減を実現。7/28にはBNBの新高値連動でCAKE価格も上昇し取引量が200%増加。供給削減によるデフレ効果とマルチチェーン展開による利用者基盤拡大が同時進行し、分散型取引所（DEX）での手数料収入増加とトークン需要の構造的向上が期待される。

大穴：新規銘柄　発掘ガイド　8/1

このガイドでは、将来有望な「大穴銘柄」を発掘するため、CMC上で時価総額ランキング250位から500位に位置する銘柄を調査し、成長性の高い銘柄を選定する手法と、Tier1 VCが投資する銘柄の中から直近7日間で時価総額が急上昇したものを分析する手法を採用しています。大穴銘柄は、TOPや中堅銘柄の分析とは性質が異なり、時価総額が低いことから成長の幅が期待できる反面、リスクも伴うため、リスクリターンのバランスを慎重に判断する必要があります。

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模ベンチマーク比較	上昇率 7days
今週該当する銘柄はありませんでした。						

引用元：

本レポートにおけるデータおよび分析は、以下の情報源を基にしています。

- CoinMarketCap：https://coinmarketcap.com/
- CoinCarp：https://www.coincarp.com/
- Messari：https://messari.io/

注意事項

本レポートは、投資助言を提供するものではありません。提供される情報は、一般的な解説に限定されており、個別の投資判断に直接適用するものではありません。投資に関する最終決定とその結果について、当方は一切の責任を負いません。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。商業利用に関するお問い合わせは下記よりご連絡ください。

発行元：TSUDOI
メールアドレス：info@sigmainc.co.jp
ウェブサイト： https://tsudoi-platform.co.jp/